

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第1回 常任理事予定者会議議事録

日 時：2014年 9月 19日 (金) 19:00～22:00

場 所：コンセーレ JCルーム

出席者：

- (理 事 長) : 須山(敬称省略 以下同)
- (直 前 理 事 長) : 村上
- (副 理 事 長) : 澤畑、廣田、太城、福田(之)
- (専 務 理 事) : 金
- (監 事) : 安野
- (担 当 常 任 理 事) : 飯野、羽石、鈴木
- (日 本 J C 関 係 特 別 委 員 長) : 渡邊
- (会 員 拡 大 特 別 委 員 長) : 太城
- (法 令 会 計 審 査 局 局 長) : 豊崎
- (事 務 局 長) : 飯沼

- 1. 開会宣言 <金>(役職名省略 以下同)
- 2. JCIクリード唱和 <羽石>
- 3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <飯野>
- 4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 <鈴木>
- 5. 関東地区宣言唱和 <豊崎>
- 6. 出席者の確認 <飯沼>
出席理事15/18名
- 7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>

8. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

9. 2015年度理事長挨拶

<須山>

まずは定刻にお集まりいただきありがとうございます。そして2014年度の村上理事長の時間をお貸しいただいて2015年度の会議が開催できたことに感謝申し上げます。また総務委員会、渉外員会の皆様は予定者の段階も含めると16か月と長い間になります。どうぞよろしくお願ひ致します。昨日は理事面談でしたが、連日ということもあり大変ご負担かけていますが感想としては初理事、初委員長が多くフレッシュな理事面談だったと思います。所信を読み込んでいただいて委員会概要などをみていただいて自分たちがやること、会議におかれている現状を確認できたことが大変よかったのかなと思います。人材の育成と自己の成長に繋がることを所信の方に書かせていただいて1年間何事にも真摯に挑戦していきたいと思ひ、話させていただきました。今日は常任理事構成メンバーですけれども私が常任理事になりましたのは2005年入会ですので7年目です。常任理事の壁っていつも厚いなと思ひていました。その年は常任理事と理事の差というものすごく考えました。2015年度におきましてもはじめて常任理事になる方もいらっしゃると思いますので折角ですので常任理事と理事の差を少し聞いていきたいと思ひます。

<豊崎>業務的なことでは議案書を精査する立場になります。育成という面で育てていかなければならない。

<飯沼>各委員会の委員長におきましては自分の委員会を考える。常任理事は理事長所信を理解して複数ある委員会を正しい方向性を示していく、導いていくことだと思ひます。

<渡邊>理事は各委員会の代表、常任理事はその上のグループの代表になるわけで理事長所信の方向性を示していく、しっかり伝え、導いていく。環境を整え責任もあります。

<鈴木>執行部になるのでLOMの事を考えてやっていかなければならないと思ひます。

<羽石>執行部という立場で状況によっては副理事長にも意見していく立場になり副理事長の下で事業の方向性を導いていく立場です。

<飯野>理事の場合は自分の委員会のまとめ役で自分の事業をどうつくりあげるかという事ですが、常任理事になると全体のバランス、理事長の考えをまとめて全体のバランスをとっていくことと、人材育成を含めて10年後20年後まで考えて執行部としてどうしていったらいいのかを考えるのが役割だと思ひます。

ありがとうございます。少し聞いてみたかったので聞かさせていただきました。何がしたかったかというと、常任理事になったわけです。今日から予定者が始まるわけですけど、ぜひ自覚を持っていただきたい。宇都宮JCの常任理事とはどういうものかと常日頃から考

えていただきたいと思います。他の委員長や理事と同じような考えでは常任の意味はないです。常任理事というのは正副を中心に執行部としてこの人たちなら任せられるという、このラインの人間を成長させられる、人材成長させられるような常任理事になってもらうために皆さんにお願いしたわけでございます。理事というのは枠もありますし推薦や表を持っていけばあがってくることもありますが、常任理事は先ほどもいったように執行部としてこの人たちなら宇都宮 J C を任せられる、運営をお願いできる、常任と書くから、常に任せられるのではないかと思います。2つのラインで委員長、副委員長幹事を含めると20人を超えるメンバーをお預けする常任理事の方もいると思います。今年は何度もいいいますが今年是人材育成、自己成長の年でございます。是非ともそのメンバーと共に成長を遂げるような1年にしていただけたらと思います。

昨日理事面談のなかでも話しましたが会員拡大においては是非とも常任理事の皆様が各グループを管理というか状況を確認してもらいたいなと思います。結果を残すのは行動管理しかないと思います。声をかけたり、常にどうなっているかというのを意識することしかないと思います。末端にいけばいくほど意識がないというわけじゃありませんが、先ほど執行部という話もありましたが、是非とも会の未来を考えていくのであれば会員拡大は考えていただきたいと思います。所信においても2番目に書かせていただいております。昨日小瀧特別委員長から30名必達でいきたいという心強い言葉をいただきました。30名は会員拡大特別会議に頼ってはいけなと思いますし、会で掲げた目標ですので全員で考えていけたらなと思います。予定者を含めまして長丁場となってきます。また2014年度の担いもしっかりとやりながら2015年度の準備も進めて2015年度を迎えたいと思います。本日はどうぞよろしくお願い致します。

10. 2014年度理事長挨拶

<村上>

まずは第1回の常任理事会が開催されたということで本当におめでたいことでございます。毎年毎年この時期になりますと当たり前のようにやってくるわけですが、今年度の担いが皆さんそれぞれある中でしていくということで大変な時期でもあります。本当に期待もしておりますし2014年度よりもさらに2015年度の宇都宮 J C が運営、運動面がさらなる進化をしていただきたいと心から思います。というのも J C は単年度制でございます。今年も口をすっぱくして伝えていますがもすべてのことに対して検証していかなければなりません。なぜ検証するかということもちろん次の年次の事業をよりよくするためのことにほかなりませんので、しっかりと理解したうえで、今年度、次年度の準備をしていただきたいと思います。

そして総務、渉外の皆様本当にご設営ありがとうございます。これから毎回当たり前のように16か月設営をしていくこととなりますが簡単なようにみえてじつは大変なことだと

思いますので本当に頑張ってくださいと思いますし、ここにいることは総務、渉外の特権でございますので、そこはぜひ粹に感じていただいてぜひ理事長のお話を注意深く聞いていただいて自己の成長に繋げていただきたいと思います。

私も本会議では直前理事長という立場になりますので理事長がいいにくいこともありますのでそういうところも須山理事長がいいたいことを成り代わりまして厳しいこともいわせていただきたいと思います。まずは皆さん会議に対しての臨み方がなっているかということです。J Cだけでなく会議を円滑に進めるのにすべて自分の中に取り入れていただきたいと思いますが、自分の会社でも役に立つし、常識的な部分もJ Cはかなり大きいと思います。たとえば理事長が話しているのにジャケットを着ていてボタンを閉じていないとかいうのは下の人たちは真似します。やるのであればカッコいい副理事長や常任になってもらいたいです。皆さん職業バラバラで私も普段は作業着でございます。スーツの着方とか身だしなみというのはJ Cで教わりました。懇親会の場合での乾杯する時ですが乾杯をして立場が上の方が口をつけるまで普通は口をつけません。そのほかお箸を割って手を付けるまで箸に手をつけてはいけません。僕はこれらのことはJ Cで教わりました。実は理事長の立場でもやっているのです。たとえばこの前講師で福井先輩が来ましたが、福井先輩が口をつけるまで口をつけませんし、お箸を割るまでお箸を割りませんでした。実はそういう所はすごく重要でこの前、建設業の集まりの懇親会で、ある70歳くらいの大社長に「君それってわかってやっているんだよね？」っていわれたのです。J Cで身についていますから「若いによくそういうこと知っているね」といわれました。それ以来その社長とはすごく距離が近づきましたし、すごくかわいがっていただいております。こういうチャンスというのは当たり前のようにありますので、ぜひJ Cからそういった細かいところを吸収して、そして皆さんが下を導いていただきたいと思います。2015年はメンバーのためにもそういうことができる先輩になってもらいたいと思います。そしてもっと大切なことは、須山理事長の話をしている時もそうですがメモをとっている方が少ない。メモをしようとする人が少ないです。挨拶というのは理事長所信と同じなのです。皆さん何を伝えようとしていますか？常任理事会で来年はこういう方向に決まりました。須山理事長こういう話されていまして。それを伝えようと思っても、何を話したかメモをしてなくて下のメンバーに伝えられるのですかって話です。すべては自覚次第です。それによって宇都宮J Cのメンバーが成長するか、もちろん自分もですが運動が広がっていくか、市民に影響を与えていけるか、それが宇都宮J Cの存在意義に繋がってくることでありますので、ぜひその自覚は持っていただきたいと思います。私も皆さんには本当に期待しています。来年は本当に素晴らしい組織、150人のメンバーがみんな飛躍的な成長を遂げるように心から願っております。直前理事長として微力ながらですが力になっていきたいと思っております。それでは第1回常任理事会をよろしくお願い致します。ありがとうございました。

1 1. 協議事項

協-01 2015年度 理事長所信（案）について

協議資料に基づき読み合わせ。

<金> 理事長所信ですが次回も使用しますので、回を重ねる毎に落とし込みしていただければと思います。

<須山> 所信に基づき運動を進められたらと思います。不明な箇所は副理事長とよく話し合っテループ内で検討してもらえればと思います。それでもわからない所は聞いていただいて構いませんが答えになるようなこういうような例会にしてくれとは一切いいません。こういう街にかえていきたいという解釈は伝えていけるとお思いますので不明な点は聞いていただけたらと思います。また声に出して読んでいくと読みづらい箇所とか漢字の間違いとかがありましたので読み込んでラインに落としていただけたらと思います。

協-02 2015年度 基本計画（案）について

協議資料に基づき、金専務理事より資料の読み上げ。

<須山> コメントありません。

協-03 2015年度 グループ構成（案）について

協議資料に基づき、金専務理事より読み上げ。

<須山> 事業計画を作るなかで基礎となる部分ですのでよく読み込んでいただけたらと思います。

協-04 2015年度 総会・例会・事業担当（案）について

協議資料に基づき、金専務理事より資料の読み上げ。

<飯沼> 年間スケジュールの例会の変更の可能性はありますか？

<金> 報告事項の際に伝えようと思っテいましたが、変更の可能性あります。

<須山> 例会日程の並びについて説明をさせていただきたいのですがどうしてこの並

びになったかという、例年公益事業とは後半に持ってきている傾向がありますが全国大会、宮まつりの40周年ということもありまして、5月から夏にかけてメンバーの負担が大きくなるのではないかと予想されます。ということなので3月4月に大型の公益事業を組んでいます。これはどういうことを意味しているかといいますと普通は2本目に大きな公益事業を持って来るのですが公益をはじめにもってきていますので早め早めの動きが必要になってくると思います。副理事長、常任理事の方は理事、委員会というものをうまくコントロールしてよい方向に動かしていただければと思います。ここに対話集会事業というものがありますが埼玉中央JCの現地調査、対話集会というものをみた方も多いと思いますが、理事メンバーが中心となって動いていくことが多いと思います。またご負担をかけることも多いと思いますのでこの辺の動きは非常にタイトになってくるかと思しますので今うちにお見知りおきしてもらえればと思います。

協-05 2015年度 諸会議要項（案）について

協議資料に基づき、金専務理事より資料の読み上げ。

<飯野> 昨日の理事面談の際に全国大会招致に関する会議体ができる話がありましたがこちらに記載がないということはアンオフィシャルという認識でよろしいですか？

<金> 別に立ち上げるという認識でお願いします。

<須山> はじめの話ですがタブレットがオッケーになりましたという件と最近アップルを使われているという方も多いようですがアップルで議案を作るとごちゃごちゃになると思いますのでワードに対応した形でのPCを使っただければと思うのでよろしくをお願いします。

協-06 2015年度 収支予算計画（案）について

協議資料に基づき、金専務理事より資料の読み上げ。

<飯野> 2015年度 収支予算計画（案）について

<金> ありがとうございます。

<須山> リーフレットはいつまでにあったらいいでしょうか？

<飯野> 個人の意見ですが3月4月までであればいいと思います。

<須山> 予算の都合もあるのですが実現させたいと思うので期待にこたえていきたい
と思います。検討して伝えていきます。予算については金専務もいっていた
ように流動的で繰り越し金もいくらになるかわからないので今の予算の中で
事業を考えていただいて予算ができたならまた再興していただければと思いま
す。

協-07 その他

なし

12. 報告事項

報-01 2015年度 組織図（案）について

<金> 継続通知の方も発送しております。配属会議が終わりましてメンバーが決まり次
第こちらに加えていきます。

報-02 2015年度 予定者スケジュールについて

<金> ブロック、地区の予定がまだできていけませんので流動的と考えていただきたいと
思います。目安として作成しました。様々な諸事情により変更があると思います。

報-03 2015年度 年間公式スケジュール（案）について

<金> 日本JCの予定は出ていて記載していますが、変更の可能性もあるので更新して
いきます。LOMのスケジュールに関しても、地区、ブロックその他諸々の
諸事情で変更があるということを現段階で認識しておいてください。

報-04 公益社団法人日本青年会議所 2015年度 会頭所信について

<金> ご一読ください。

報-05 公益社団法人日本青年会議所 2015年度 基本資料（案）について

<金> ご一読ください。

報-06 その他

なし。

15. 監事講評

<安野>

いよいよ第1回常任理事会が始まりました。1月1日よりしっかりスタートできるように準備していただけたらと思います。総務、渉外委員会早い時間から設営お疲れ様です。ここに来てないメンバーも含めて常任理事会、理事会と支えてもらえればと思います。第1回目で理事長所信などの読み合わせなどありましたが、なかなか常任としての自覚を持つということも難しいと思いますが来年の今頃は後悔することのないように何事にも真摯に向き合っていただけたらと思います。常任理事とは非常に難しい立場ではあると思います。副理事長がいて委員長がいて、私も経験ありますけど意外と自分のやりたいことが反映できず委員長がやりたいことを反映できる立場ではあると思いますがそれを汲み取って副理事長、理事長に意見をぶつけていただいて委員長と意見を交換しながら常任理事会、理事会で意見をいわれないようにして議案等々精査していただいて会をスムーズに進めてもらえればと思います。わからないことをすべて潰して1月1日から正式に第1回の会議が始まると思いますので、須山号がしっかりと飛び立てるよう常任理事が盛り立てて頑張っていければいいと思います。本日は第1回ですが監事が3人そろえばよかったのですが理事会には3人そろうように準備してきてまいります。最後に理事長がいつている何事にも真摯に向き合って自分の成長、メンバーに影響を与えていけて12月31日には笑って終われるような2015年度にさせていただきたいと思います。1年間お願い致します。

16. 閉会宣言

<金>

公益社団法人宇都宮青年会議所

2015年度 第1回 常任理事予定者会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：

